

事業計画書

1 事業名称 第1回通常総会並びに新年会（1月例会）

担当委員会：総務広報委員会 委員長：杉原 正樹

2 事業要項 事業背景

関係諸団体の方々を来賓として呼びし、2015年度の事業報告並びに2016年度の三沢青年会議所の新体制と方向性を伝える場であり、対外的にJC運動をアピールする重要な機会であります。2016年度も変わらぬご支援・ご協力を得るべく、地域に根ざしたJC運動を広く発信し、ご理解頂く為の懇親の場とします。

目的

対外：2016年度の三沢青年会議所の新体制を伝え、方向性を示し、多くの方々からご理解とご協力を得られるよう努めると共に、日頃お世話になっているシニアクラブ会員・ご来賓並びに来訪JCと親睦を深め、繋がりを一層強固なものにする事を目的とします。

対内：通常総会にて、2015年度の事業報告並びに収支決算書の承認を頂きます。新年会では、2016年度理事長を筆頭とした新体制でご来賓並びに来訪JC、シニアクラブ会員をおもてなしの心でお迎えし親睦を深めることを目的とします。

3 事業概要

実施期間	1月25日（月）	事業予算額	¥103,917
実施場所	きざん三沢		

参加員数計画

会員 26名 シニアクラブ会員 118名 来賓 110名
来訪JC 40名

事業内容

例会セレモニー
16:00 - 17:00
第1回通常総会
・2015年度監査報告
・第1号議案 2015年度事業報告書承認の件
・第2号議案 2015年度収支決算書承認の件
・第3号議案 その他
2015年度理事者会議・2016年度第1回理事者会議
新年会 18:30 - 20:30
・オープニングアトラクション
・理事長挨拶・来賓紹介・来賓祝辞・鏡開き・乾杯
・全メンバーにてご来賓・シニアクラブ会員・来訪JCの接待
・2016年度役員紹介

事業計画書

1 事業名称 公選理事候補者選挙（7月例会）

担当委員会：総務広報委員会 委員長：杉原 正樹

2 事業要項 事業背景

1月から12月までを事業年度とするなか上半期を終え、2017年度に向けた準備の為、理事長候補者・監事候補者の選任を行い、選挙により理事者を選出する必要があります。

目的

対外：シニアクラブ会員の先輩諸兄へ、2017年度新体制の発表とより一層の懇親を深める場とする。

対内：公選理事候補者選挙により、理事長・監事を選任し、選挙にて理事者の選出を行い、2018年度の新体制を決め新たなスタートへ向けての準備態勢に入る場とします。また、懇親会においてメンバー間の交流を深め、下半期の活動に向けて更なる団結力強化を図ることを目的とします。

3 事業概要

実施期間	7月	事業予算額	¥4,000
実施場所	きざん三沢		

参加員数計画

会員 26名 シニアクラブ会員 118名

事業内容

例会セレモニー
18:30
公選理事候補者に関する期日及び公示
公選理事候補者は、6月理事会後4日間、三沢青年会議所事務局内に公示し、正会員の閲覧に供する。
次年度公選理事候補者選挙
・投票立会人は、選挙管理委員会が行う。
・メンバーを4名ずつ投票所へと誘導し、立会人より公選理事候補者投票用紙を受取り記入後、投票箱に投函する。
懇親会
・次年度理事長予定者より、決意表明と抱負を述べてもらう

事業計画書

1 事業名称 第1回臨時総会（9月例会）

担当委員会：総務広報委員会

委員長：杉原 正樹

2 事業要項

事業背景

理事長候補者、監事候補者、その他公認理事候補者選挙にて選出された公選理事候補者、理事長候補者の指名を受けた補充理事候補者を、総会での選任のもと理事長予定者及び理事予定者とし、次年度に向けての第一歩として重要な機会を設ける。

目的

対外：シニアクラブ会員の先輩諸兄にお披露目する場を設け、役員改選のご報告と次年度へ向けての所信表明をすることで、今後ともより一層のご理解・ご協力を賜う様、懇親を深める場とする。

対内：次年度の理事候補者を総会で選任することでメンバー全員に周知し、次年度新体制での準備に向けて連携・協力し、活動に取り組む意識づけを行う場とする。また、懇親会において先輩諸兄とのより一層の親睦を深めることを目的とする。

3 事業概要

実施期間	9月	事業予算額	¥4,000
実施場所	きざん三沢		

参加員数計画

会員 26名 シニアクラブ会員 118名

事業内容

例会セレモニー

18:00

第1回臨時総会

- ・第1号議案：理事長候補選任の件
- ・第2号議案：監事候補選任の件
- ・第3号議案：公選理事候補選任の件
- ・第4号議案：補充理事候補選任の件
- ・第5号議案：その他

懇親会

19:30

事業計画書

1 事業名称 卒業式・忘年会・ロム褒賞授与式（12月例会）

担当委員会：総務広報委員会

委員長：杉原 正樹

2 事業要項

事業背景

40歳で卒業となる青年会議所において、年度末の12月で卒業となります。この最後の月に、これまで活動してきた卒業生の労をねぎらい、功績を讃え感謝の意を表し、新たな門出としてお見送りするとともに、LOM褒賞により会員の意識向上に努め、多大なるご協力を頂いているシニアクラブ会員の先輩諸兄に対し、一年間の活動報告の機会を設ける。

目的

対外：卒業生のご家族をお迎えし、在籍中の功績を讃えると共にこれまでの活動に対するご理解・ご協力に感謝の意を伝えることを目的とします。また、多大なるご支援・ご協力を頂いている先輩諸兄や来訪JCの皆様へ感謝の気持ちを伝え、交流を図る事を目的とします。

対内：

【卒業式】卒業生よりJC運動の中で学んだ事や現役会員に激励のメッセージを伝えて頂くことで今後の運動の励みになることを目的とします。

【忘年会】会員相互、先輩諸兄と懇親を深め、一年を振り返り新たな目標を持って次年度を迎えるための懇親の場を目的とします。

【ロム褒賞】一年間の委員会事業、会員の運動を表彰し功績を讃え次年度の会員の意識向上へ繋がる事を目的とします。

3 事業概要

実施期間	12月	事業予算額	¥127,484
実施場所	きざん三沢		

参加員数計画

会員 26名 シニアクラブ会員 118名 来訪JC 40名

卒業生 4名 卒業生家族 9名

事業内容

例会セレモニー

17:30

卒業式

・卒業予定者：菅原伸一、中塩広司、渡辺卓也、鎌田秀幸

忘年会

ロム褒賞

・最優秀委員会賞、最優秀会員賞、最優秀新人会員賞の発表と表彰

事業計画書

1 事業名称 三沢・沖縄児童交歓事業振返りから未来へ（4月例会）

担当委員会：青少年育成委員会

委員長：築井 生

2 事業要項

事業背景

1978年に国内でも気候・風土・生活環境の著しく異なる地域である三沢市と沖縄市の児童が、互いに見聞を深め友好を結び、健やかに育ち行く為の糧になることを目的として、本事業が始まりました。38年続く本事業は、自然体験を通じて豊かな心と感性を育む場となり、今後も地域の枠を超えた友情を次代の子供たちに継承したいと考えます。

目的

対外：

対内：会員の結束を強め、姉妹JCである沖縄青年会議所との絆をより強固なものとする為、これまでの本事業の歴史を学び、各メンバーの意識向上を図るとともに第20回児童交歓事業の糧とする。

3 事業概要

実施期間	4月27日（土）（案）	事業予算額	¥800
実施場所	商工会3階 会議室		

参加員数計画

会員 26名 過去の児童交歓事業実行委員長（先輩） 4名

事業内容

例会セレモニー

18:30 - 18:50

児童交歓事業振返りから未来へ

19:00 - 21:00

- ・理事長挨拶
- ・趣旨説明
- ・各回送り出し・迎え入れ時の振返りと活動紹介
- ・第20回三沢・沖縄児童交歓事業（送り出し）へ向けて

事業計画書

1 事業名称 第20回三沢・沖縄児童交歓事業（送り出し）

担当委員会：青少年育成委員会

委員長：築井 生

2 事業要項

事業背景

1978年に国内でも気候・風土・生活環境の著しく異なる地域である三沢市と沖縄市の児童が、互いに見聞を深め友好を結び、健やかに育ち行く為の糧になることを目的として、本事業が始まりました。38年続く本事業は、自然体験を通じて豊かな心と感性を育む場となり、今後も地域の枠を超えた友情を次代の子供たちに継承したいと考えます。

目的

対外：寒冷な気候の青森県三沢市と、温暖な気候である沖縄県沖縄市に生活する人々の歴史・風土・生活環境が異なる地で、親元を離れホームステイを通じて習慣の違いを肌で感じ、友情を育み、豊かな心を養うことを目的とする。

対内：長年継続している本事業を通じて、姉妹JCである沖縄青年会議所メンバーとの絆を深め、より良い事業となる様協力し、青少年育成運動の一助となることを目的とする。

3 事業概要

実施期間	7月中旬（案）4泊5日	事業予算額	¥690,000
実施場所	商工会3階 会議室		

参加員数計画

会員 26名 沖縄青年会議所会員 10名

三沢児童 10名 沖縄児童 10名

事業内容

オリエンテーション

・沖縄での歓迎会で三沢市（青森県）に因んだアトラクションを
実演。その練習及び説明会として、計5回開催。

第20回三沢・沖縄児童交歓事業（送り出し）

1日目：出発式、観光、歓迎会、ホームステイ

2日目：各児童の学校訪問体験、キャンプなどの自然体験

3日目：海などの自然体験、海岸清掃、ホームステイ

4日目：自由行動（各家庭に一任）、送別会、ホームステイ

5日目：意見発表会、帰路、到着式

事業計画書

1 事業名称 Challenge to the future (6月例会)

担当委員会：青少年育成委員会

委員長：築井 生

2 事業要項

事業背景

近年子供たちを取り巻く環境は大きく変化し、人との繋がりから学ぶことが減り壮大な夢を抱きづらい環境にあります。次代を担う子供たちが将来へ希望を持てるよう成長させることが重要です。その為に、夢と挑戦溢れる健全な青少年育成の推進が必要であると考えます。

目的

対外：少年少女を対象に、ラグビーというスポーツを通じコミュニケーション能力を養い、自ら学び考え行動する強い心と逞しく健全な身体を作り将来に希望を持てる夢と挑戦溢れる場を創出する。また、青少年育成に携わる教職員や地域のスポーツ教育者への意識伝播を目的とする。

対内：メンバー一人ひとりが、ラグビー精神を通じて青少年育成について学び、道徳心や人を思いやる心を共有することを目的とする。

3 事業概要

実施期間	6月25日(案)	事業予算額	¥1,390,375
実施場所	青森県立 三沢商業高等学校		

参加員数計画

会員 26名 近隣地域の青少年 150名
地域・小中学校の教員 10名 講師・指導者 7名
地域のスポーツ教育者 20名

事業内容

例会セレモニー

9:00 - 9:20

Challenge to the future

【『清く・正しく・逞しく』ラグビー精神から学ぶ】 10:00

青年会議所メンバー、地域のスポーツ教育者等を対象として、ラグビーを通じた青少年育成と現在の青少年の実態や指導方針について、講師によりご講演頂く。

【ラグビークリニック及びトッブリーガーとのパネルディスカッション】

14:00 - 17:00

ラグビーというスポーツを通じ男女の別なく地域から世界に羽ばたきグローバルリーダーとなれる様、世界で活躍するトッブリーガーをお呼びしパネルディスカッションを行う。

事業計画書

1 事業名称 第36回三沢国際サマーフェスティバル事業（8月例会）

担当委員会：地域活性化委員会

委員長：新堂 友和

2 事業要項

事業背景

我が街には米軍基地が存在し、国際色豊かなまちへと変貌を遂げ、中心市街地は都市開発により様変わりしました。一方で、少子高齢会による若年人口の減少など多くの課題を抱え、祭り参加者も例年減少の一途を辿っています。まちの活力を取り戻す為、関係諸団体と連携・協力し官民一体となって三沢市の賑わい創出に貢献していかなければなりません。

目的

対外：年齢や国籍を問わず、より多くの市民に参加して頂くことで地域の繋がりを深め、市民のパフォーマンスの場を演出し地域の活力を創出することで、文化と観光及び産業の振興に寄与することを目的とする。

対内：関係諸団体との連携を密にすることで、明るい豊かな社会を築くため協力し、会員一人ひとりのJC運動に対する意識向上を目的とする。

3 事業概要

実施期間	8月19日(金)～8月21日(日)	事業予算額	¥1,880,940
実施場所	アーケード商店街(広瀬G.S前)～基地ゲート前、及びアメリカ広場		

参加員数計画

会員 26名 一般参加者 600名

事業内容

8月18日(木)
ステージ設営、テント・テーブル搬入、全体会議
8月19日(金)
会場設営、ステージイベント運営、会場片付け
8月20日(土) 主催事業
セレモニー(商工会館)、会場設営、参加団体配置、事業開始、会場片付け
8月21日(日)
会場設営、ステージイベント運営、会場撤収
8月22日(月)
ステージ撤去、テント等返却

事業計画書

1 事業名称 三沢は価値の根源である～農業先端モデルが地域経済にもたらすもの～(10月例会)

担当委員会：地域活性化委員会

委員長：新堂 友和

2 事業要項

事業背景

三沢市の特産品は、三沢漁港に水揚げされるホッキ貝などの多種多様な水産物を始め、長芋やニンニク、ゴボウといった農産物があります。しかし、高齢化や後継者不足による労働者人口の減少、TPPによる国産品の消費減退への懸念等、多くの課題を抱えています。そこで、企業と第一次産業が繋がり、様々な角度からの発想や新たな資源創出により地域経済活性化に繋がりたいと考えます。

目的

対外：魅力的な農業とする為に、潜在的に抱える課題を切り口に異業種との連携の重要性に気付きを与え、農業者の意識改革に努め地域農業を牽引する農業者の育成へと繋げる。また、企業は農業を足掛かりに更なる業務範囲の拡大やサービスの多様化へと繋げる気付きの場を創出する。

対内：持てる知識や技術を他産業へ投下する事で、新たな経営展開に繋がる気付きの場とする。

3 事業概要

実施期間	10月の土曜日(案)	事業予算額	¥225,030
実施場所	三沢市国際交流教育センター		

参加員数計画

会員 26名 講師 2名 パネラー・コーディネーター 3名
農業関係者 40名 一般企業 160名
行政及びおいらせ農業協同組合 6名

事業内容

例会セレモニー

11:20-11:50

三沢は価値の根源である～農業先端モデルが地域経済にもたらすもの～

・講演 13:00-14:15

テーマ『農業先端モデルが地域経済にもたらすもの』

先端農業連携推進機構が実施している連携事業の事例と、地域経済への効果について

・パネルディスカッション 14:30-16:00

事前に農業者からの抽出課題を発表

地域産品の低コスト化に繋がる企業技術について、など課題から案を作成し、事前にパネラーと調整

事業計画書

1 事業名称 第25回シーサーオープンチャリティーゴルフトーナメント事業(5月例会)

担当委員会:人間力拡大推進室

委員長:月館 洋一

2 事業要項

事業背景

39年間という長きに亘り、(公社)三沢青年会議所と(一社)沖縄青年会議所が共同し継続してきた『三沢・沖縄児童交歓事業』があります。参加児童の家庭負担金軽減を目的としてチャリティー事業を行い、多くの児童に参加して頂く為の基金造成が必要です。

目的

対外:三沢・沖縄児童交歓事業へのご理解を頂き、市内・市外・県外からも来られる不特定多数のゴルフ参加者に対してJC運動を発信する機会とします。

対内:会員一人ひとりの相互扶助の精神を今以上に強固にし、JAYCEEとしてJC運動に対する意識や理念の資質向上を目的とします。

3 事業概要

実施期間	5月27日(金)・29日(日)	事業予算額	¥2,108,000
実施場所	例会:三沢市商工会館3階 事務局 ゴルフトーナメント:米軍三沢基地内ゴッサーメモリアルG.C 表彰式・懇親会:米軍三沢基地内(将校クラブ)		

参加員数計画

会員 26名 シニアクラブ会員 20名
各地会員会議所 20名 一般市民及び関係諸団体 104名

事業内容

例会セレモニー
5月27日(金) 19:30-20:00
全体会議
5月27日(金) 20:00
第25回シーサーオープンチャリティーゴルフトーナメント事業
5:00-12:30
参加者送迎、参加者受付、事業開始、集計、賞品準備
懇親会及び表彰式
13:00-15:00
懇親会、表彰式、参加者送迎、撤収

事業計画書

1 事業名称 自己の成長無くして市民意識変革運動無し!!(2月例会)

担当委員会:人間力拡大推進室

委員長:月館 洋一

2 事業要項

事業背景

三沢青年会議所は、会員数減少により組織運営が非常に厳しい状況にあります。この様な時だからこそ、会員一人ひとりがJC運動を改めて見つめ直し理解を深め、自己意識変革により市民意識変革運動を伝播する為に、責任世代のメンバー拡大へと繋げなくてはなりません。

目的

対外:

対内:メンバー一人ひとりが青年会議所運動を理解し、意識改革を行うことで市民意識変革運動の先頭に立つ人材を育成することを目的とします。

3 事業概要

実施期間	2月	事業予算額	¥23,704
実施場所	商工会館3階		

参加員数計画

会員 26名 講師 1名

事業内容

例会セレモニー
18:30-18:55
講演
19:00-21:30
・LOMの意義や目的をディスカッションにより理解する
・魅力的な組織を構築する方法を学ぶ
・JCIMissionをLOMの活動にどのように取り入れるか?

事業計画書

1 事業名称 市長懇談会～三沢青年会議所活動報告会～（3月例会）

担当委員会：三役

専務理事：坂本 直子

2 事業要項 事業背景

三沢青年会議所は、三沢市の発展に寄与し将来のリーダーを育成するべくまちづくり運動を展開しており、行政と協力・連携し、活性化を図らなければなりません。その為には、名誉顧問である種市市長に我々の運動に対する理解を深めて頂くと共にご協力頂ける様、活動報告の機会を設け懇親の場が必要であると考えます。

目的

対外：これまでの事業活動を報告し、2016年度の事業計画をご紹介しますと共に、我々の運動へ対する理解を深めて頂くことを目的とします。また、市政の報告や展望などの方向性を共有することで、相互間の協力体制や連携を強化し、活動に反映することができると考えます。

対内：事業紹介を通じて、2016年度一年間の事業PRができ、我々が地域にとって必要な人材であり団体であるという認識をして頂ける様、全力でアピールする。

3 事業概要

実施期間	3月	事業予算額	¥4,000
実施場所	きざん三沢		

参加員数計画

会員 26名 三沢市長 1名 秘書 1名

事業内容

例会セレモニー
17:30 - 17:50
市長懇談会～三沢青年会議所活動報告会～
各委員会ごとに事業を分類し、パワーポイントを用いてこれまでの事業活動を紹介します。さらに、2016年度の事業計画を各委員長よりご紹介する。市長や我々にとっても、これまでの歴史を振り返り事業の経緯や今に至る現状などの把握に努める。事業を継続し発展させることで、地域や市民に還元し人材育成に繋がることでまちづくりに貢献しているという方向を示す。

事業計画書

1 事業名称 金婚式・銀婚式・米寿・還暦を祝う会（11月例会）

担当委員会：三役

専務理事：坂本 直子

2 事業要項 事業背景

1963年（昭和38年）11月17日に社団法人十和田青年会議所のスポンサーのもと、第262番目のLOMとして日本青年会議所より承認され誕生しました。これまで、長い歴史を築いてこられた先輩諸兄の当時の事業やご活躍を振り返りながら還暦等のお祝いを行う事で、シニアクラブ会員との交流が更に深まる機会を創出したいと考えます。

目的

対外：これまで歴史を繋いでこられた先輩諸兄に敬意を表し、感謝の気持ちとおもてなしの心でお迎えし、当時の活動風景を振り返りながらシニアクラブ会員及び現役メンバーでお祝いすることで、現役会員との更なる交流が深まることを目的とします。

対内：これまでの歴史や先輩諸兄が行ってきた事業を振り返り、歴史を学ぶ事で今後のJC運動の糧にすると共に懇親を深める事により、今後とも叱咤激励や運動に対するご協力を頂き、相談役としても関わり合いを持ちながら絆を深めて頂く場とする事を目的とします。

3 事業概要

実施期間	11月17日（木）（案）	事業予算額	¥61,500
実施場所	きざん三沢		

参加員数計画

会員 26名 還暦対象者 2名 銀婚式対象者 1名
金婚式対象者 1名 喜寿対象者 1名
シニアクラブ会員 114名

事業内容

例会セレモニー
18:00 - 18:30
金婚式・銀婚式・米寿・還暦を祝う会
・対象となる先輩のプロフィール紹介
・対象となる先輩及び家族の方へ、理事長より花束と記念品の贈呈
懇親会
・対象となる先輩の紹介
・対象となる先輩から現役当時の写真（パワーポイント）を見て頂きながら、当時の苦労や喜びの体験談等を語って頂く。
・質問時間を設ける